

令和8年度第1回千葉東警察署協議会

1 開催日

令和8年6月24日

2 開催場所

千葉東警察署

3 出席者

・協議会委員 9人 ・警察署 11人

4 業務報告

(1) 管内の治安情勢について

(2) その他、感謝の手紙等について

5 警察署からの諮問事項

【諮問】警察官採用募集活動について

【答申】警察の古い体質、縦社会の改善

千葉県警や警察の就活サイトを見ると、実際に縦社会とかで、日本の古い形態があって退職しましたという記載を見て、実際10年前とかよりも改善しているとは思いますが、古い形態を改善するために今どんなことをしていますか。

【回答】採用募集は県警としては、非常に厳しい状況であり、それに向けて、警察の魅力の発信ということで今、取り組んでおりますが、実際に部内としてやっているのは、働きやすい職場環境の形成です。

まず、福利厚生面で言いますと、年間の年次休暇が決められておりますが、それがきちんと取れるように取りやすい環境を実践しています。

職場環境の中でハラスメントを許さないと、そこも力を入れております。ハラスメントを許さないという職場環境、組織風土の形成ということで、誰でも声を上げやすいといった環境を形成して、やはり行為者は許さない、それと被害に遭った方を守るといったことを取り組んでいます。

【答申】業務の効率化、業務の改善

私の職場でも入社した新人の仕事の負担をどう削っていくか、業務の効率化とか、縦社会とか、業務を改善していかななくてはいけないかなと思っています。業務の効率化に関してはどうですか。

【回答】8・6運動ということと呼び掛けています。8時以降出勤、6時前退勤ということで、まず幹部自ら実践しています。

掃除をするということは、どうしても新人の仕事となりがちな部分があります。

上司が早く来るとそれよりも早く来なくてはいけないということで、悪循環を形成してしまいます。

幹部は、遅く来て、早く帰る、ということを実践して、みんなが出勤する時間が短くなる、なおかつ、執務時間内により集中して、正に県民のために100パーセント力を出し切ろうと実践しているところであります。

【答申】職場の魅力、楽しさ、やりがいの発信

私は、医療の仕事をやっており、特に医師は警察官と同じでスペシャリストです。患者の命を救わなくちゃいけない。

休みがどうかとか、そういうことでは無く、自分たちに何がやれるのかっていうことを言われる。

警察ならではの地域住民から感謝されとか、そういうところがやりがいだと思います。

何が私たちの職場に魅力があるのか、何がやりがいなのかっていうことを伝えていかないと。

警察ならではのやりがいであったりとか、働いているプライドを持てるとか、そういう発信を是非ともやっていただきたい。

是非とも警察の楽しさ、やりがい、生きがいを発信していただけたらなと思います。

6 委員からの要望・意見等

【質問】道路上の「止まれ」の標識が削れているという状況をどなたが管理しているのか。標識の修繕に関して教えてください。

【回答】通常は、交通課、地域課に限らず、外を活動している警察官が気づいたならば、交通課の方に情報を上げて、交通課から修繕依頼をしています。

そのほかに中央線が薄いとか、道路の端の白い線、路側帯の線が薄いとかいうものは、道路管理者に連絡して修繕を行っています。

【質問】今年ありました外国人技能実習生に関する盗難事件の相談事例について御紹介します。

職場の寮で現金が盗まれたことで交番に行き被害届を出したということがありました。それ以外に契約内容と実際の労働条件に相違があったりとか、十分な説明も無い書類への署名があったということがありました。こういった事例がもしかしたら一部かも知れませんが、他にもそういったケースがあるということも考えられますので、警察の皆さんや技能実習の担当、我々のような支援機関と連携して外国人に安心して相談できる環境整備や相談体制の確立が求められるのではないかなと思

います。

【回答】交番に行ったというお話がありましたが、各交番員はスマートフォン型のポリストリプルアイという機器を持っており、それが無線機や電話の代わりになります。

そこに翻訳機能があり、多言語入っておりますので、それを用いて日本語に不案内な方に翻訳機能で御案内する。

そういった形で対応しております。また、被害の申告があり、警察署でお話を聞く場合は、指定通訳人を要請して関係機関の紹介を行っております。

また、管内の技能実習生の方を対象に民間企業などに赴いて、犯罪に遭わないように、教養を行い日本の生活について御指導させていただいております。

7 答申等に対する措置結果
なし